

バス事業の評価結果について

- バス事業についての利用者数、収支率、満足度、利便性といった評価指標を設け、これらに対する目標値を設定し、改善を図りながら、今後の運行のあり方を検証するため、バス事業の評価制度を行うものである。
- 平成29年度におけるバス事業評価結果では、「1便あたりの利用者数」、「収支率」、「利便性」では、28年度から向上しているが、目標値には至っておらず未達成である。「満足度」においては、運行ダイヤに対する満足度が前年度と同じく目標値に達しておらず、他の項目については前年度を上回り目標値を上回っている。
- このように一部達成できたものもあるが、全体として達成できていない状況である。
- 平成29年度バス事業評価結果は裏面のとおり

今後のバス運行の課題

- ①運行便数の改善に向けた検討
- ②電車とバスの接続改善に向けた検討
- ③運行路線（ルート）の検討
- ④今後のバス運賃のあり方の検討
- ⑤新たな利用者増加策に向けた検討
- ⑥上記の課題を現行の町財政負担の範囲内で検討する。

平成29年度 バス事業評価結果

評価指標 及び目標値	平成28年度実績 (調査結果)	平成29年度実績 (調査結果)	評価結果・評価基 準からの方向性
1便あたりの平均 利用者数 (基本路線9人以上、乗継支線2人以上)	1便あたり平均利 用者数 基本路線8.4人 乗継支線0.8人	1便あたり平均利 用者数 基本路線8.6人 乗継支線0.9人	○未達成 1便当たりの利用 者数は前年度から 増加している。利 用者増加策の検討 及び実施
収支率 (基本路線30% 以上)	基本路線収支率 17.4% 但し、無料措置が 無ければ21.6%	基本路線収支率 15.7% 但し、無料措置が 無ければ 21.0%	○未達成 改善策の検討
満足度 (1年目50%以 上、2年目以降 60%以上) 「満足」及び「や や満足」の合計値 の割合をいう。	バス利用者意識調 査結果(平成28 年7月実施)によ る。 ○運行ダイヤ 24.5% ○バスルート 54.4% ○バス運賃 83.9% ○運転士マナー 75.7%	バス利用者意識調 査結果(平成29 年7月実施)によ る。 ○運行ダイヤ 30.6% ○バスルート 65.4% ○バス運賃 90.5% ○運転士マナー 88.2%	○一部未達成 運行ダイヤに対す る満足度が前年度 と同じく目標値に 達しておらず、他 の項目については 前年度を上回り目 標値を上回ってい る。 運行ダイヤに係る ニーズの把握、改 善策の検討及び実 施が必要。 なお、達成項目に ついては、更なる 満足度向上策の検 討及び実施に努め る。
利便性 (1年目50%以 上、2年目以降 60%以上) 外出機会が「増 加」及び「やや増 加」した住民の割 合をいう。	公共交通に関する 住民アンケート調 査結果(平成28 年8月実施)によ る。 28.0%	公共交通に関する 住民アンケート調 査結果(平成29 年8月実施)によ る。 35.0%	○未達成 バスを利用しての 外出機会は前年度 より増加している が、目標値には達 していない。運行 ダイヤの見直し 等、満足度の向上 策の検討及び実施